

ENIGMAとFI-MONKEYの接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。

基本的なモンキー(フューエルインジェクション車 JBH-AB27-190~)の整備知識が必要です。

ノーマル車両には、シートの下にECUがあります。

シートを外すとECUがプラスチックのステーによって取り付けられています。

ECUに繋がっている33ピンカプラーを外し配線を加工してENIGMAを割り込みさせて下さい。

ENIGMAは近くに水に濡れないよう取り付けてください。配線加工後ECUを取り付けてください。

カプラー側の配線にENIGMAの配線をインジェクター線を除き**割り込み接続**します。

(**割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です**)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

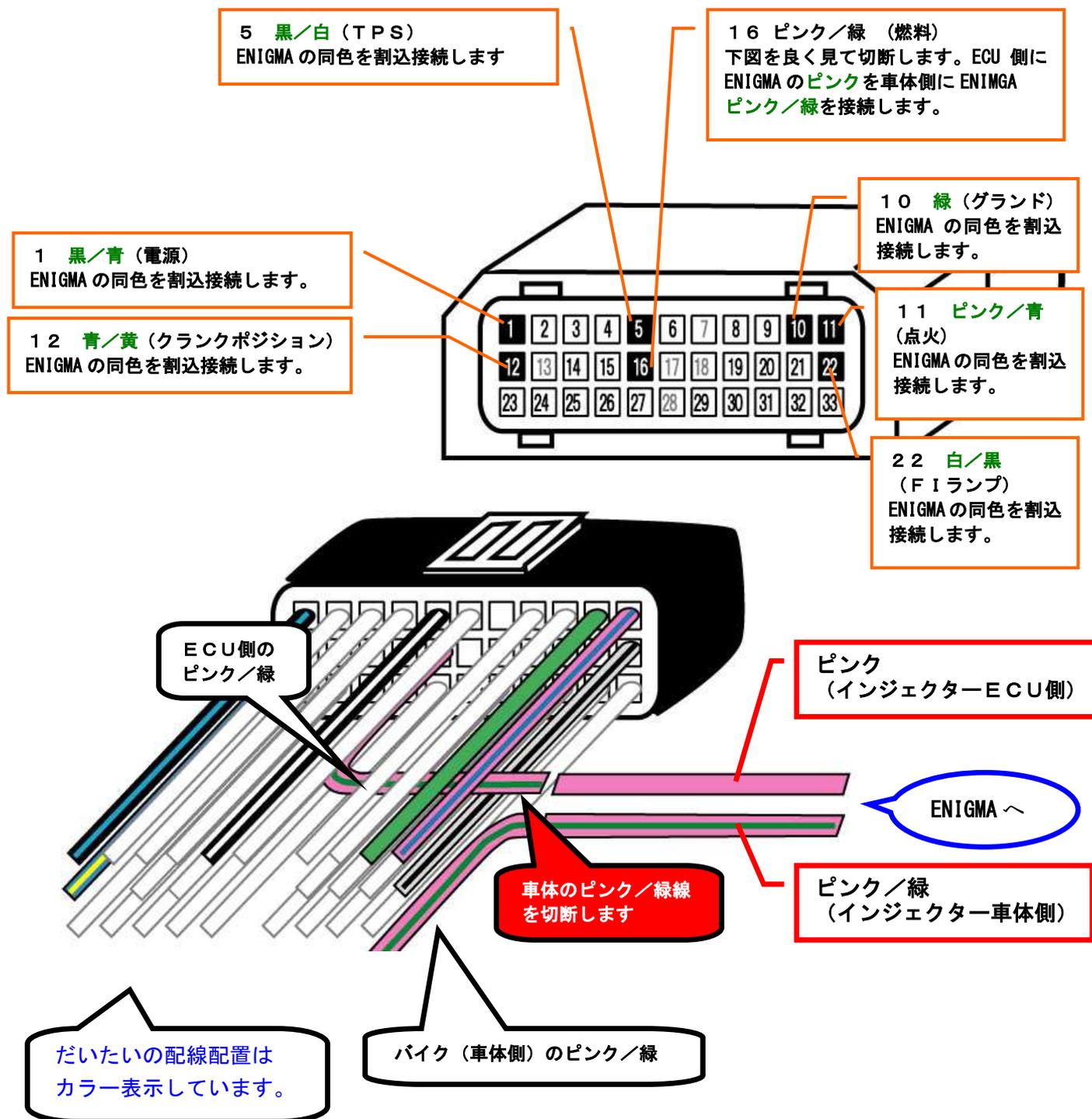
ENIGMAの動作に問題が起きます。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。

RTFタイプをお使いの方は、ECUに繋がっているカプラーを外し、ENIGMA RTFから出ているカプラーをECUと車体側に接続してください。「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

- 基本的にENIGMAから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
ENIGMAから接続する配線は全部で8本です。**ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。**
- ※ ECUの16番端子(ピンク/緑)へ接続されている線(インジェクターへの信号)を切断して、ENIGMAからの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 9番端子と10番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい。
- ※ 本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元から水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。

注 ENIGMAはアクセル全開でイグニッションONにしたとき通信可能状態となりFIランプを点滅させますが、モンキーのFIランプは電球のためとても暗く点滅いたします。回りを手で囲うなど暗くすると確認することができます。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU 端子で繋ぐのは 1、5、10、11、12、16、22 の 7 箇所です。上図で良くご確認ください
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA はクランク 1 回転に 1 回、5V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC 用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※FI-MONKEY ENIGMA 専用ソフト(アプリ)をお使いください。他のバイク専用の ENIGMA ソフト(アプリ)や FI-MONKEY 用の FirePlus 専用のソフト(アプリ)は EASY モード/PRO モード共接続できません。

ENIGMA type-PとFI-MONKEYの接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。

基本的なモンキー(フューエルインジェクション車 JBH-AB27-190~)の整備知識が必要です。

ノーマル車両には、シートの下にECUがあります。

シートを外すとECUがプラスチックのステーによって取り付けられています。

ECUに繋がっている33ピンカプラーを外し配線を加工してENIGMA type-Pを割り込みさせて下さい。
ENIGMA type-Pは近くに水に濡れないよう取り付けてください。配線加工後ECUを取り付けてください。

カプラー側の配線にENIGMA type-Pの配線をインジェクター線及び、O2センサー線を除き**割り込み接続します。**
(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

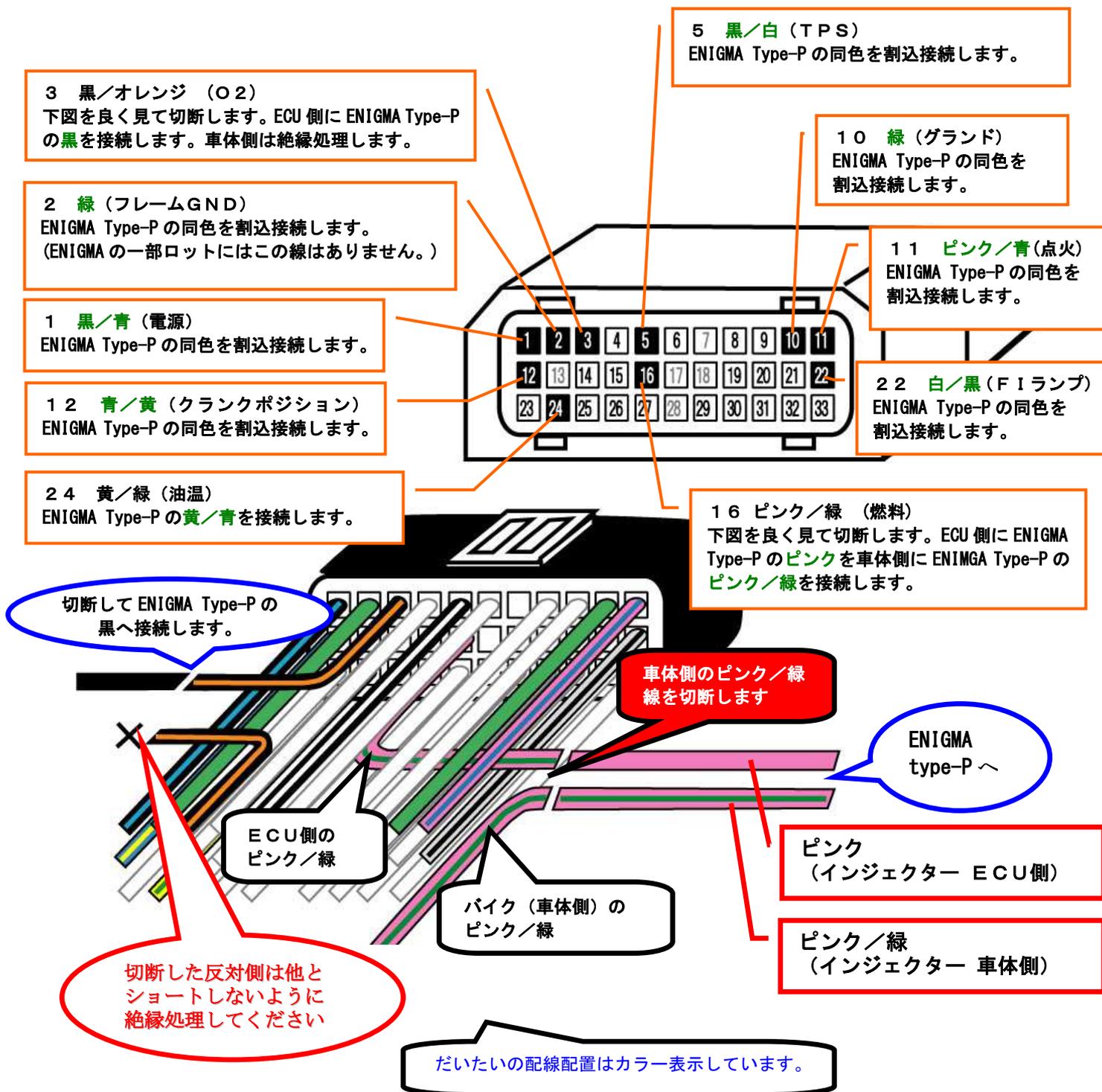
ENIGMA Type-Pの動作に問題が起きます。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。

PRTFタイプをお使いの方は、ECUに繋がっているカプラーを外し、ENIGMA PRTFから出ているカプラーをECUと車体側に接続してください。「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

- 基本的にENIGMA type-Pから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
ENIGMA type-Pから接続する配線は全部で11本です。**ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。**
- ※ ECUの16番端子(ピンク/緑)へ接続されている線(インジェクターへの信号)を切断して、ENIGMA type-Pからの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの3番端子(黒/オレンジ)へ接続されている線(O2センサーからの信号)を切断して、ENIGMA type-Pの黒線とECU側を接続してください。切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。
- ※ ECUの24番端子(油温センサー)は黄/緑線ですが、ENIGMA type-Pの黄/青線を割り込み配線してください。
- ※ ENIGMAからボディアース(フレームGND)へ接続する緑/黒線がある場合、この線をバッテリーのマイナス側かバイクのフレームに直接配線するか、ECUの2番端子(緑/黒線)へ接続してください。ECUの9番、10番端子(緑線)には接続しないでください。ENIGMAの一部のロットにはこの線はありません。
- ※ **本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元から水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

注 ENIGMA type-Pはアクセル全開でイグニッションONにしたとき通信可能状態となりFIランプを点滅させますが、モンキーのFIランプは電球のためとても暗く点滅いたします。
回りを手で囲うなど暗くすると確認することができます。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、2、3、5、10、11、12、16、22、24の10箇所です。上図で良くご確認下さい。

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA type-Pはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ PC用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Androidアプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※FI-MONKEY ENIGMA 専用ソフト(アプリ)をお使いください。ENIGMA 用は type-P にも対応します。他のバイク専用の ENIGMA ソフト(アプリ)や FI-MONKEY 用の FirePlus 専用のソフト(アプリ)は EASY モード/PRO モード共接続できません。

リプレイサーアイドル同調

モンキーのアイドル回転数は、ECUによって決められています。そのため、ENIGMA type-P からアイドル回転数の上昇／下降を行うことができません。

モンキー版 ENIGMA type-P では、マニュアル記載のアイドル回転数でタミー02 センサー出力電圧を制御していますが、実際のバイクとずれてしまい、燃料がどんどん薄くなっていったり、濃くなっていったりしてしまい、アイドルが停止する場合がございます。

この場合、リプレイサー部のアイドル同調を使用して、アイドル中に燃料が濃くなりすぎたり、薄くなりすぎない位置にスライドバーを調整してください。